

ブラジル

2021年9月3日

海外調査部・サンパウロ事務所

2020年は新型コロナウイルス感染症の影響で景気後退に陥ったが、財政出動と中国需要に支えられ、実質GDP成長率は他国に比べれば軽微な減少だった。貿易は輸出入ともに減少した。輸出は主に中国向けの一次産品が増加したため小幅な減少にとどまったが、輸入は、内需減退や世界的なサプライチェーンの寸断と調達難で大幅に減少した。対内直接投資は前年を下回ったもののフィンテック需要が増加し、金融サービス分野への投資が急増した。対日貿易は輸出入ともに減少した。特に、コンテナ不足による部品確保の難しさ、輸送コスト増といった問題で自動車や自動車部品の対日輸入が大きく減少した。

■マイナス成長に陥るも「財政」と「中国」で踏みとどまる

2020年の実質GDP成長率はマイナス4.1%だった。1996年に現行の方法で統計を開始して以降、最も減少幅は大きかったものの、大規模な財政出動と中国向け一次産品輸出の増加が奏功し、世界の主要国と比較すると減少幅は小さかった。産業分野別では、農畜産業が2.0%増と唯一増加した。主要輸出品である大豆（7.1%増）やコーヒー（24.4%増）の生産量が増加したためだ。工業は3.5%減、サービス業も4.5%減少した。需要要素別では、GDPの約6割を占める民間消費支出が5.5%減少した。新型コロナの影響で各種行動が制限を受けたことに加えて、現地通貨レアルの下落で購買力が低下したことも影響した。通貨は2020年年末に1ドル当たり5.2レアル（ブラジル中銀発表）となり、1月時点と比較して22.7%下落した。消費者物価上昇率（IPCA）は4.5%で、中銀が設定した目標値の上限（5.5%）には収まったものの、年後半にかけてインフレ圧力が高まった。失業率は13.5%で前年比1.6ポイント上昇した。ただし、連邦政府は新型コロナが感染拡大し始めた2020年4月、諸条件を満たすインフォーマルセクターの労働者や個人零細事業主などを対象に1人当たり月額600レアルを支給したほか、緊急雇用維持対策や給与への融資策を打ち出すことにより、失業率の上昇に一定の歯止めをかけた。

表1 ブラジルの需要項目別実質GDP成長率

	2019年	2020年				2021年	
		Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	
実質GDP成長率	1.4	△4.1	△0.3	△10.9	△3.9	△1.1	1.0
民間最終消費支出	2.2	△5.5	△0.7	△12.2	△6.0	△3.0	△1.7
政府最終消費支出	△0.4	△4.7	△0.8	△8.5	△5.3	△4.1	△4.9
国内総固定資本形成	3.4	△0.8	6.0	△13.9	△7.8	13.5	17.0
財貨・サービスの輸出	△2.4	△1.8	△2.4	0.7	△1.1	△4.3	0.8
財貨・サービスの輸入	1.1	△10.0	5.2	△14.6	△25.0	△3.1	7.7

〔注〕 四半期の伸び率は前年同期比。
〔出所〕 ブラジル地理統計院 (IBGE) から作成

■輸入減少、農畜産業輸出が牽引し貿易黒字

経済省貿易統計（COMEXSTAT）によると、2020年の貿易（通関ベース）は、輸出が前年比5.4%減の2,091億8,000万ドル、輸入は14.6%減の1,587億8,700万ドル、貿易収支は503億9,300万ドルの黒字だった。

貿易収支の黒字幅は、現在の定義で統計を取り始めた1989年以降3番目に高い数値となった。新型

コロナの影響で輸出入ともに減少したものの、輸出が大豆をはじめとした農産物輸出の堅調に支えられたためだ。輸出の大項

表2 ブラジルの主要品目別輸出入<通関ベース>

(単位: 100万ドル、%)

	輸出(FOB)				輸入(FOB)				
	2019年		2020年		2019年		2020年		
	金額	構成比	金額	伸び率	金額	構成比	伸び率		
農畜産業	43,047	45.155	21.6	4.9	資本財	25,673	24,200	15.2	△ 5.7
大豆	26,077	28.564	13.7	9.5	資本財(輸送機器除く)	21,559	20,946	13.2	△ 2.8
トウモロコシ	7,290	5.853	2.8	△ 19.7	工業用輸送機器	4,115	3,254	2.0	△ 20.9
コーヒー豆	4,575	4.974	2.4	8.7	中間財	113,138	99,416	62.6	△ 12.1
綿花・原綿	2,640	3.227	1.5	22.2	工業用資材(加工品)	64,928	58,026	36.5	△ 10.6
果物およびナッツ	924	921	0.4	△ 0.3	資本財部品および付属品(輸送機器用部品除く)	21,303	19,894	12.5	△ 6.6
鉱業	50,585	49,052	23.4	△ 3.0	輸送機器用部品	19,879	14,787	9.3	△ 25.6
鉄鉱石およびその精鉱	22,681	25,780	12.3	13.7	工業用資材(原料)	3,166	2,432	1.5	△ 23.2
石油、歴青油	24,200	19,614	9.4	△ 19.0	消費財	24,817	21,175	13.3	△ 14.7
銅鉱石および精鉱	2,326	2,409	1.2	3.6	非耐久および半耐久消費財	19,399	17,646	11.1	△ 9.0
製造業	126,361	114,073	54.5	△ 9.7	耐久消費財	5,418	3,529	2.2	△ 34.9
砂糖・糖蜜	5,196	8,759	4.2	68.6	燃料および潤滑油	22,170	13,935	8.8	△ 37.1
牛肉(生鮮、冷蔵、冷凍)	6,546	7,447	3.6	13.8	合計(その他含む)	185,928	158,787	100.0	△ 14.6
飼料	6,238	6,331	3.0	1.5					
セルロース	7,473	5,984	2.9	△ 19.9					
鶏肉および食用となる鶏肉の内臓	6,487	5,555	2.7	△ 14.4					
合計(その他含む)	221,127	209,180	100.0	△ 5.4					

(出所) 経済省

目をみると、農畜産業(4.9%増)、鉱業(3.0%減)、製造業(9.7%減)で、農畜産業のみが前年比増だった。構成比で13.7%を占める大豆が9.5%増加した。2019年、中国で猛威を振るったアフリカ豚コレラの影響で大量の豚が殺処分され飼料需要が減少していたが、需要が徐々に回復したことが影響している。その他、コーヒー豆(8.7%増)、綿花・原綿(22.2%増)なども増加した。全体の12.3%を占める鉄鉱石およびその精鉱も13.7%増加した。一方、原油価格の大幅下落や世界的な需要の低下で、石油、歴青油は19%減少した。輸出を国別にみると、全体の32.4%を占め相手国1位の中国向けが7%増加した。大豆は輸出の73.2%が中国向けだ。米国(27.7%減)やアルゼンチン(13.3%減)は減少した。米国向けでは、主要輸出品である石油および歴青油(HSコード:2709)が57.8%減、鉄鋼半製品および非合金鋼の半製品(HSコード:7207)も17.1%減と落ち込んだ。

輸入は、資本財(5.7%減)、中間財(12.1%減)、消費財(14.7%減)、燃料および潤滑油(37.1%減)全てで前年比減だった。新型コロナによる内需と生産活動の低迷によるものだ。国別では、構成比で21.9%を占める中国が3.5%減少し、米国(19.8%減)、ドイツ(13.5%減)、アルゼンチン(25.9%減)も軒並み減少した。

■開放的な通商政策を継続

メルコスール域外との交渉では2020年10月、ブラジル・米国間の貿易・経済協力協定(ATEC)が署名された。関税減免などモノの貿易自由化は含まないが、貿易円滑化、良き規制慣行など二国間の

表3 ブラジルの主要国・地域別輸出入<通関ベース>

(単位: 100万ドル、%)

	輸出(FOB)				輸入(FOB)				
	2019年		2020年		2019年		2020年		
	金額	構成比	金額	伸び率	金額	構成比	伸び率		
中国	63,358	67.788	32.4	7.0	中国	36,028	34,778	21.9	△ 3.5
米国	29,716	21.471	10.3	△ 27.7	米国	34,774	27,876	17.6	△ 19.8
アルゼンチン	9,791	8,489	4.1	△ 13.3	ドイツ	10,833	9,369	5.9	△ 13.5
オランダ	7,159	6,705	3.2	△ 6.3	アルゼンチン	10,651	7,897	5.0	△ 25.9
カナダ	3,382	4,230	2.0	25.1	韓国	5,050	4,497	2.8	△ 11.0
日本	5,432	4,127	2.0	△ 24.0	日本	4,740	4,191	2.6	△ 11.6
ドイツ	4,732	4,124	2.0	△ 12.8	インド	4,537	4,167	2.6	△ 8.2
スペイン	4,043	4,057	1.9	0.3	フランス	4,862	4,151	2.6	△ 14.6
チリ	5,163	3,850	1.8	△ 25.4	イタリヤ	4,686	4,077	2.6	△ 13.0
メキシコ	4,898	3,829	1.8	△ 21.8	メキシコ	5,106	3,862	2.4	△ 24.4
韓国	3,450	3,762	1.8	9.0	パラグアイ	2,803	2,972	1.9	6.0
シンガポール	2,881	3,671	1.8	27.4	チリ	3,177	2,896	1.8	△ 8.8
合計(その他含む)	221,127	209,180	100.0	△ 5.4	合計(その他含む)	185,928	158,787	100.0	△ 14.6

[注] 輸入相手国には本来第5位にブラジルが登場するが、本調査では次の特殊な事情を考慮して対象外とし、6位以降の国を繰り上げている。2018年以降、鉱脈の掘削調査活動、石油・天然ガスの採掘に必要な財に与えられる連邦税の優遇制度が変更した「2017年12月29日付法律13,586号」の存在がある。制度改正以前は、免税措置を受けるためにブラジルで製造された機械・装置は所有権が国内ではなく、海外の子会社などに輸出扱いにすることが条件だった。ところが、改正後はブラジル国内で当該財の所有権を維持したまま免税措置を受けられるようになったため、国内資産に繰り入れを行う動きが広まり、輸入統計に現れることになった。

(出所) 経済省

通商関係強化を目指すものだ。ブラジルは、本協定により非関税障壁を下げ、さらなるビジネス環境の改善を図る。2021年5月には、2020年2月以降交渉が一時停止していたメルコスール・韓国FTA交渉が再開した。メルコスール域内では、自動車分野の二国間協定の交渉が進展した。2020年9月、経済補完協定(ACE)第74号(通称:ブラジル・パラグアイ自動車協定)が発効した。

■金融サービスへの投資が大幅増

2020年の対内直接投資額(国際収支ベース、フロー)は前年比32.9%減の328億6,900万ドルとなった。生活様式の大きな変化や新型コロナ感染収束のタイミングが見込めなかったことなどが、民間投資計画に影響したとみられる。

国別では、全体の22.9%を占める米国が前年比で26.8%減少したのをはじめ、ほとんど全ての国で減少した。一方で日本は2.7%増加した。業種別にみると、大項目では、農業・畜産・鉱業(その他含む)が47.0%減、工業(その他含む)も5.1%減、サービス業(その他含む)も36.8%減と軒並み減少した。構成比で12.3%を占める石油・天然ガス採掘が

59.2%減と大きく減少した。新型コロナ禍で、予定されていた港のコンセッションの延期などが投資機会を減少させた。一方、金融サービス(非金融持ち株会社)が3.3倍(19億8,700万ドル)と急増した。新型コロナ禍で無店舗のデジタル銀行が顧客数を

伸ばし規模を拡大するなど、アプリケーションを介したテクノロジーに特化したフィンテックが大きく伸びた。ラテンアメリカ・プライベートキャピタル投資協会(LAVCA)によれば、2020年のベンチャーキャピタル投資として8億ドル以上がブラジルのフィンテック企業に投資された。

表4 ブラジルの国・地域別対内・対外直接投資<国際収支ベース>
(単位:100万ドル、%)

	対内直接投資					対外直接投資			
	2019年		2020年			2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
米国	10,287	7,532	22.9	△ 26.8	米国	1,949	4,195	41.7	115.2
オランダ	6,213	5,401	16.4	△ 13.1	ルクセンブルク	1,047	1,386	13.8	32.4
フランス	2,871	2,221	6.8	△ 22.7	英領バージン諸島	621	985	9.8	58.6
スペイン	2,875	2,012	6.1	△ 30.0	ケイマン諸島	2,716	947	9.4	△ 65.2
日本	1,958	2,011	6.1	2.7	バハマ	1,700	322	3.2	△ 81.0
ケイマン諸島	2,921	1,474	4.5	△ 49.5	オランダ	324	289	2.9	△ 10.8
ルクセンブルク	2,552	1,421	4.3	△ 44.3	アルゼンチン	832	212	2.1	△ 74.5
イタリア	725	961	2.9	32.6	スイス	140	146	1.5	4.5
英国	2,907	872	2.7	△ 70.0	メキシコ	79	130	1.3	63.8
ドイツ	1,440	851	2.6	△ 40.9	オーストリア	154	122	1.2	△ 21.2
シンガポール	161	782	2.4	387.0	チリ	73	121	1.2	65.2
チリ	3,829	762	2.3	△ 80.1	パナマ	57	120	1.2	109.4
ノルウェー	2,198	748	2.3	△ 66.0	英国	36	104	1.0	188.5
スイス	793	721	2.2	△ 9.1	ポルトガル	95	96	1.0	0.7
合計(その他含む)	48,951	32,869	100.0	△ 32.9	合計(その他含む)	14,230	10,053	100.0	△ 29.4

[注] 親子会社間の資金貸借を含まないグロスの直接投資額(フロー)。
[出所] ブラジル中央銀行

表5 ブラジルの業種別対内・対外直接投資<国際収支ベース>

(単位:100万ドル、%)

	対内直接投資					対外直接投資			
	2019年		2020年			2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
農業・畜産・鉱業(その他含む)	13,123	6,952	21.2	△ 47.0	農業・畜産・鉱業(その他含む)	989	202	2.0	△ 79.5
石油・天然ガス採掘	9,907	4,039	12.3	△ 59.2	工業(その他含む)	2,330	4,067	40.5	74.6
鉱物採掘関連事業	1,280	1,379	4.2	7.8	化学品	84	2,701	26.9	3,119.8
工業(その他含む)	9,927	9,424	28.7	△ 5.1	金属	415	344	3.4	△ 17.0
自動車・トレーラー・車体	2,502	2,655	8.1	6.1	自動車・トレーラー・車体	283	63	0.6	△ 77.6
化学品	912	990	3.0	8.5	機械・電子装置	29	55	0.5	87.4
パルプ、紙および板紙	1,253	1,152	3.5	△ 8.1	繊維製品	83	9	0.1	△ 88.6
食料品	1,175	599	1.8	△ 49.0	非金属鉱物製品	905	249	2.5	△ 72.5
非金属鉱物製品	1,259	126	0.4	△ 90.0	食料品	174	136	1.4	△ 22.2
金属	215	227	0.7	5.5	ゴムおよびプラスチック製品	19	10	0.1	△ 46.6
機械および装置	673	844	2.6	25.3	サービス業(その他含む)	10,683	5,664	56.3	△ 47.0
サービス業(その他含む)	25,708	16,248	49.4	△ 36.8	金融サービス・同補助業	3,970	341	3.4	△ 91.4
金融サービス・同補助業	3,531	1,118	3.4	△ 68.3	金融サービス(非金融持ち株会社)	2,664	3,736	37.2	40.3
商業(自動車除く)	4,246	2,847	8.7	△ 32.9	商業(自動車除く)	2,981	95	0.9	△ 96.8
電気・ガス等	4,984	1,873	5.7	△ 62.4	不動産	231	127	1.3	△ 45.0
ITサービス	1,164	827	2.5	△ 28.9	電気・ガス等	n.a.	41	0.4	-
倉庫業および運輸支援活動	1,386	200	0.6	△ 85.6	ITサービス	156	209	2.1	34.4
運輸	2,824	288	0.9	△ 89.8	インフラ	17	15	0.1	△ 11.2
不動産	1,724	550	1.7	△ 68.1	運輸	40	22	0.2	△ 45.4
金融サービス(非金融持ち株会社)	598	1,987	6.0	232.1	倉庫業および運輸支援活動	42	53	0.5	25.8
不動産の売買	193	245	0.7	26.9	不動産の売買	228	119	1.2	△ 47.7
合計	48,951	32,869	100.0	△ 32.9	合計	14,230	10,053	100.0	△ 29.4

[注] 親子会社間の資金貸借を含まないグロスの直接投資額(フロー)。
[出所] ブラジル中央銀行

表6 ブラジルの主な対内直接投資案件

業種	企業名	国籍	発表時期	投資額	概要
農業・食品・飲料	シンジエンタ	スイス	2020年3月	8,000万ドル	種子のブランドNKの再リリース。研究センターの新設を発表。
	ハイネケン	オランダ	2020年3月	8億6,500万レアル	パラナ州ボンタグロッサ市の製造工場生産拡大を発表。
	アルタジェネチカ	カナダ/オランダ	2020年4月	750万レアル	ミナスジェライス州ウベラバ市の飼育能力向上に向けた投資を発表。
	ヴェルダ・アグリテック	英国	2020年4月	2,250万レアル	ミナスジェライス州サン・ゴタルド市の採鉱施設への投資を発表。シルト岩や海緑石を採掘し、肥料の添加物などを目指す。
	ニュートリエン	カナダ	2020年6月	n.a.	主要な流通チャネルとブランド力(Sementes Goias)を持つゴイアス州の大手農業資材流通業者TEC AGROグループの株式を100%を買収を発表。
	ADM	米国	2020年7月	n.a.	機能的栄養剤や健康素材などの天然植物由来エキス・素材メーカーのバイオニアであるYerbalatina Phytoactivesの買収を発表。
化学用品	ネスレ	スイス	2020年8月	7億6,290万レアル	サンパウロ州アラサトウバ市、アララス市、カサババ市、エスピリトサント州ヴィラ・ベリーヤ市、パイア州のフェイラ・デ・サンタナ市、ミナスジェライス州モンチスクラーロ市の製造ラインを稼働開始および既存のラインを近代化させる目的での投資を発表。
	アンペブ	ベルギー	2021年1月	3億8,500万レアル	パラナ州ボンタグロッサ市にあるビュアモルツビール製造能力向上にむけた投資。南部および南東部向けの充填・供給ラインとして3億7,000万レアルを投資。残り1,500万レアルはパラナ州のアウミランテ・タマンダレー市の冷蔵庫工場拡大に向けた投資を行う。
	P & G	米国	2020年1月	1億レアル	サンパウロ州のイノベーションセンターに新たな生産ラインを設ける。
紙・セルロース	モンサント/バイヤー	米国/ドイツ	2020年2月	8,000万レアル	パイア州カマサリ市の生産ユニットを近代化するための投資を発表。
	ブラッセルグループ (ロイヤル・ゴールデン・イーグル)	シンガポール	2020年1月	10億レアル	サンパウロ州の生産加工プロセスでイノベーション・持続可能性を追求するための投資を発表。
	大王製紙/丸紅	日本	2020年2月	23億300万レアル	大王製紙と丸紅は大王製紙が51.0%、丸紅が49.0%出資するブラジルの共同投資会社であるH&PC BRAZIL PARTICIPAÇÕES S.A.を通じてブラジルのSanther Fábrika de Papel Santa Therezinha S.A.の全株式を共同で(間接的に)取得することに合意。
自動車および自動車部品	CMPC	チリ	2021年4月	1,600万レアル	リオ・グランデ・ド・スル州ペロタス港の入札案件を落札し、今後10年間同案件に関わる計画を発表。
	フォルクスワーゲン・カミ	ドイツ	2020年2月	800万レアル	2022年までに、サンパウロ州ヴィニエウド市の部品配送センターを4,000㎡拡大し、ロジスティクスの効率を高めるための投資を発表。
	フォルクスワーゲン・カミ	ドイツ	2020年2月	20億レアル	2021年から2025年の投資サイクルを計画を発表。
	ニョエス・イ・オニブス	ドイツ	2020年2月	10億レアル	新製品開発のための研究・開発投資を発表。
モビリティサービス	ボルボ	スウェーデン	2020年2月	1,000万レアル	エンジンソリューションとの提携により、電気自動車向け充電ステーションを200カ所設置するための投資を発表。
	アウトディ	ドイツ	2020年2月	1,000万レアル	エンジンソリューションとの提携により、電気自動車向け充電ステーションを200カ所設置するための投資を発表。
IT・スタートアップ	KINTO ブラジル	日本	2020年7月	n.a.	トヨタファイナンシャルサービスと三井物産はブラジルで幅広くモビリティサービス事業を展開するため KINTO Brasil Serviços de Mobilidade Ltda. (KINTO ブラジル社) を 2020年7月2日に設立。出資比率はトヨタファイナンシャルサービスが51%、三井物産が49%。消費動向が「保有」から「利用」への流れが加速する可能性を踏まえ、中南米最大の自動車市場であるブラジルで成長の著しい B to B 向けフルサービスリース事業(サービス名:「KINTOONE」)を2020年末から開始予定と発表。
	メルカドリブレ	アルゼンチン	2020年2月	40億レアル	Eコマースと金融サービス(同社決済システム)を拡大するための投資を発表。
	アマゾン・ウェブ・サービス(AWS)	米国	2020年2月	10億レアル	サンパウロ州に所在するデータセンターのインフラ投資を発表。
	テレフォニカ・イノベーション・ベンチャーズ	スペイン	2020年3月	n.a.	テレフォニカ・イノベーション・ベンチャーズはブラジルを米国やイスラエルと並んで重要な投資対象国として位置付け、ブラジルのベンチャーキャピタルである Redpoint ventures に投資することで、現地のテレコム分野の革新的なソリューションを有するスタートアップの発掘・投資に繋げることを発表。
	ソフトバンク	日本	2020年4月	2億5,000万レアル	ソフトバンク・ラテンアメリカ・ファンドを通じてEコマースでペット製品専門のペトラブに投資。
	エクイニクス	米国	2020年4月	1億3,600万ドル	既にサンパウロにある2つのデータセンターのキャパシティを強化する。サンパウロ市が5,900万ドル、バルエリ市2,500万ドル、サンタナ・デ・パナナイーバには5,200万ドルで新たなデータセンターを設置することを発表。
	ウォーバーグピンカス	米国	2020年6月	3億レアル	不動産管理ソフトウェアなどの事業を行うスーパーロジカに投資することに合意。不動産分野の商品や同社金融サービスを手掛けるPJ Bankがその資金を活用することを発表。
	IBM	米国	2020年10月	2,000万ドル	AI分野の技術者に関する研究センターを開設するための投資。サンパウロ大学や民間企業、研究促進機関、教育機関、FAPESP等との協力によるもので、IBMがこのグループをリードする。AIの消費国ではなく、AIの生産国も目指していくと発表。
	LGT ライトストーン/タルセディア/e.ベンチャーズ/ウエリントン・マネージメント/アドベント/ソフトバンク/カゼッキベンチャーズ/アマデウスCP	英国/米国/日本/アルゼンチン	2020年12月	2億5,500万ドル	不動産や自動車を担保にしたローンを申込、審査、実行を複数の貸出候補に対してオンラインでのサービス提供を行うスタートアップ、クレジットへの投資。
	デジタル・コロニー	米国	2020年4月	n.a.	データセンターの分野で経験豊富なマルコス・ビエゴ氏と提携し、UOL Diveoの買収を通じて、超大規模データセンターを展開する「Scala Data Centers S/A」をサンパウロに設立。ブラジルでは最大規模のデータセンターとなり、ITサービスのアウトソーシング等テクノロジーの需要増に対応したビジネス展開を目指す。

IT・スタートアップ	スケールデータセンター (デジタルコロニー)	米国	2021年5月	n.a.	デジタルコロニーのグループ会社としてサンパウロ州カンピーナスにある Algar Tech のデータセンター購入に署名したことを発表。
	Ascenty (デジタル・リアルティ、ブルックフィールド)	米国/カナダ	2021年4月	2億5,000万ドル	5つのデータセンターを新設 (その内4つはサンパウロ州に設置)。
金融サービス	徐工集団 (XCMG)	中国	2020年1月	1億レアル	ブラジルで主に建設業界や同社グループ企業向けの融資を行う銀行開設を発表。
	シュローダー・インベストメント・マネジメント	英国	2020年4月	n.a.	新型コロナウイルス禍で中長期にニーズが高まることが予想されるテクノロジー、メディア、テレコミュニケーション分野に特化したシュローダー・テック・エクイティ・ロング&ショートをブラジルでリリース。
	ゴールドマンサックス	米国	2021年6月	21億レアル	フィンテック企業であるメトワードへの投資を発表。
電気機器	パークシャー・ハサウェイ	米国	2021年6月	5億ドル	既にシリーズGの資金調達を実施しているフィンテック企業であるスーパーバンクに対し、シリーズGを拡張調達させる形で投資を発表。
エネルギー	TCL 集団	中国	2021年6月	n.a.	Semp との合弁事業を受け負うことを発表し、保有株式を40%から80%に拡大。
	ソーラー・プロバイダー	カナダ	2020年1月	2億5,000万ドル	ブラジル市場での現地展開に必要なパートナーを探すための投資。5年間を想定した投資。
	ピエネルジア	イタリア	2020年1月	50億レアル	今後数年以内に、リオ・グランデ・ド・ノルテ州の沖合に設置された風力発電所に約50億レアルの投資が行われる予定となった。
	ハイゼン (コザン/シェル)	オランダ/英国	2020年2月	30億レアル	2020年、2021年のサトウキビ細維持費としての投資。
	国家电网 (ステートグリッド)/CPFL	中国	2020年2月	135億4,000万レアル	CPFL は向こう5年で計画している投資のうち、115億9,000万レアルは配電分野に向けられる。
	アトラス リニューアブル エナジー	チリ/英国	2020年3月	8億8,100万レアル	太陽光エネルギーの売買契約に8億8,100万レアルの投資で署名したことを発表。クリーンエネルギーの供給は、ミナスジェライス州にあるアトラス・カサブランカの太陽光発電所を通じて行われる。
	中国電力建設	中国	2020年3月	6億レアル	IBS エナジーグループとサンパウロ州レンソイス・パウルスタにユーカリバイオマス利用した火力発電所を建設するための提携を発表。
	Evoltz (TPG Capital)	米国	2020年4月	2億3,200万レアル	Evoltz社は、ブラジル北部の一部都市におけるエネルギー送電を管理するため、Eletrobras より マナウス送電事業を手掛ける Manaus Transmissora de Energia S.A. の株式49.5%を取得することで合意。
	エンジー	フランス	2020年7月	10億レアル	ベトロプラスに所属する Transportadora Associada de Gás の株式10%を取得。
	グリーン・イエロー	フランス	2021年1月	3-4億レアル	フランスのカシノグループとして、エネルギー効率と分散型太陽光エネルギー分野の投資を2021年に計画していることを発表。
石油・天然ガス	ゴラーパワー	ノルウェー/米国	2020年3月	n.a.	ベルナンブッコ州のSPA港における液化天然ガスターミナル開発。
	オイル・グループ	米国	2020年5月	3億ドル	リオデジャネイロ州に日量2万バレルの製油所を設置する契約をボルト・ド・アス港と締結。
	オイル・グループ	米国	2020年6月	20億レアル	エナジープラットフォームとの覚書締結により、エスピリトサント州で 그리스 製造所などを建設する動き。
	シェル	オランダ/英国	2020年12月	1,200万レアル	カンボス盆地の一部鉱区の取得。
	ムバグラキャピタル	アラブ首長国連邦	2021年3月	16億5,000万ドル	ベトロプラスは川下のビジネスを対象とする同社とバイア州の石油精製所である RLAM およびバイア州の関連する物流資産を保有する会社の株式売却の契約を締結した。
	エクイノール/エクソンモービル/ベトロガール	ノルウェー/米国/ポルトガル	2021年6月	80億ドル	エクイノールがオペレーターとなり、エクソンモービルとベトロガール、プレサルベトトレオがバカリヤウ鉱区の第一フェーズ開発に着手することを決定。
	カルーン	オーストラリア	2021年6月	1億7,500万 ~ 1億9,500万ドル	サントス盆地のバトラ鉱区開発への投資を発表。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

表7 ブラジルの主な対外直接投資案件

業種	企業名	投資国・地域	発表時期	投資額	概要
農業・食品・飲料	JBS	USA	2020年2月	2億3,800万ドル	米国JBSはパッケージとLedbetteブランドの生産ラインを買収するために Empire Packaging Company の株式を取得を発表。
	ブラジルフーズ	サウジアラビア	2020年5月	800万ドル	サウジアラビアの食品加工会社である Joody Al Sharqiya Food Production Factory の株式資本100%を取得することを発表。
	マルフリグ	米国	2020年5月	n.a.	世界最大の牛肉・ハンバーガーメーカーであるマルフリグと世界的な栄養食品企業である ADM社は南米と北米の市場 (卸売りと外食) で商業化される野菜ベースの製品を生産するため、フードテックの合弁会社「プラントプラスフーズ」を設立を発表。以前にバーガーキングの Rebel Whopper とアウトバック・ステーキハウスの Aussie Plant Burger という植物由来ハンバーガーを共同開発するための株式をマルフリグ(70%)、ADM(30%)の比率で保有していた経緯がある。
スタートアップ	アイフージ	コロンビア	2020年4月	n.a.	コロンビアの配達アプリである Domicilios.com の株式51%取得を発表。
モビリティサービス	モビレ	コロンビア	2020年7月	n.a.	アイフージのオーナー会社でプラットフォームを開発している同社は迅速プラットフォームであるコロンビアの MensajerosUrbanos に投資したことを発表。
鉱業	パーレ	中国	2020年10月	1億900万 ~ 1億5,600万ドル	Zhejiang Provincial Seaport Investment & Operation Group Co. Ltd. の子会社である Ningbo Zhoushan Port とのジョイントベンチャーで浙江省の舟山市の舟山港の施設を拡大する。
IT	ステファニーニ	ルーマニア	2020年1月	n.a.	デジタルとテクノロジーベースのビジネスコンサルタント会社である同社はルーマニアのサイバーセキュリティ会社である Cyber Smart Defense 買収を発表。
建設	ボトランチンセメント	カナダ	2020年12月	n.a.	McInnis Cement をグループ化し、両社は北米にセメントの製造・流通会社を設立するための事業合弁を発表。
教育	SEB	カナダ	2020年2月	n.a.	メイプルベアラーの親会社の株式70%取得を発表。
金融	スーパーバンク	米国	2020年9月	n.a.	ソフトウェア分野のエンジニアを擁する Cognitect の買収を発表。
	イタウ・ユニバンコ	チリ	2020年9月	2億2,800万レアル	ITB Holding Brasil ParticipaçõesLtda. を通じてチリのサンティアゴに所在する Itau CorpBanca 発行の株式取得を発表。

〔出所〕各社発表および報道などから作成

対外直接投資額（国際収支ベース、フロー）は前年比29.4%減で100億5,300万ドルとなった。構成比で41.7%を占める米国向けが2.2倍だった。2020年2月、ブラジルの食肉大手JBSは同社米国会社を通じてパッキングの製造会社であるエンパイア・パッキング（Empire Packing）の製造施設を2億3,800万ドルで買収した。

■対日貿易は輸出入共に減少

経済省貿易統計（COMEXSTAT）によると、2020年の対日輸出額は前年比24.0%減少し、41億2,700万ドルとなった。構成比16.9%を占めるとうもろこしが38.0%減少し、金額ベースでは最も落ち込んだ。2020年は生産量が増え、通貨レアル安も相まって輸出に有利な条件が整ったが、国内で畜産飼料としての需要が増加し、輸出が抑えられた。対日輸入額は11.6%減少し、41億9,100万ドルだった。構成比20%弱を占める乗用車および自動車部品が押し下げ要因となった。国内の自動車産業は新型コロナウイルスの影響により、特

に第2四半期に生産活動が大きく制限された。また、コンテナ不足によるアジアからの航空および海上輸送コスト増、航空機の減便によるスペース確保の難しさから、部品の調達が困難となった。

表8 ブラジルの対日主要品目別輸出入

(単位：100万ドル、%)

	輸出(FOB)					輸入(FOB)			
	2019年		2020年			2019年		2020年	
	金額	金額	構成比	伸び率		金額	金額	構成比	伸び率
鉄鉱石	1,072	892	21.6	△ 16.8	自動車部品	815	620	14.8	△ 23.9
トウモロコシ	1,124	697	16.9	△ 38.0	航行以外の機能を主とする船舶、浮きドック、潜水式のプラットホーム	219	588	14.0	168.5
鶏肉（部分肉）	811	658	15.9	△ 18.9	乗用車	229	141	3.4	△ 38.4
コーヒー豆	345	293	7.1	△ 15.1	核酸、その塩、その他の複素環式化合物	119	107	2.6	△ 10.1
アルミニウム	162	186	4.5	14.8	自動車用エンジン部品	154	99	2.4	△ 35.7
フェロアロイ	297	179	4.3	△ 39.7	機械類	77	73	1.7	△ 5.2
大豆	180	156	3.8	△ 13.3	集積回路	89	68	1.6	△ 23.6
大豆油かす	175	155	3.8	△ 11.4	玉軸受およびころ軸受	92	65	1.6	△ 29.3
化学木材バルブ	180	141	3.4	△ 21.7	部分品および付属品（第87.11項から第87.13項までの車両のものに限る。）	85	64	1.5	△ 24.7
果実または野菜のジュース	113	83	2.0	△ 26.5	医療用または獣医用の機器	83	63	1.5	△ 24.1
合計（その他含む）	5,432	4,127	100.0	△ 24.0	合計（その他含む）	4,740	4,191	100.0	△ 11.6

(出所) 経済省

■日本からブラジルへの投資は増加

日本からの対内直接投資額（国際収支ベース、フロー）は前年比2.7%増加し20億1,100万ドルで、国別では5位だった。IT・スタートアップ分野では、ソフトバンクグループがラテンアメリカ（中南米）のテクノロジー・スタートアップ企業を対象に設立したファンドを通じて、Eコマースでペット製品を専門に販売するペトラブへ2億5,000万レアルの投資を行うなど、引き続きスタートアップ分野への投資も顕著だ。また、紙・セルロース分野では、2020年2月に大王製紙および丸紅が、それぞれ51.0%および49.0%出資するブラジルの共同投資会社である H&PC ブラジル・パルティシパソン S.A.を通じて、現地製紙メーカーであるサンテルの株式を100%取得すると発表された。

主要経済指標

	2018年	2019年	2020年
①人口：2億1,176万人（2020年）			
②面積：851万345km ²			
③1人当たりGDP：6,783米ドル （2020年）			
④実質GDP成長率（%）	1.8	1.4	△ 4.1
⑤消費者物価上昇率（%）	3.8	4.3	4.5
⑥失業率（%）	12.3	11.9	13.5
⑦貿易収支（100万米ドル）	46,568	35,199	50,393
⑧経常収支（100万米ドル）	△ 51,460	△ 65,030	△ 24,074
⑨外貨準備高（100万米ドル、期末値）	371,934	353,588	351,519
⑩対外債務残高（100万米ドル、期末値）	320,612	322,985	310,807
⑪為替レート（1米ドルにつき、 レアル、期中平均）	3.65	3.94	5.16

〔注〕 ⑦：通関ベース
〔出所〕 ①②④～⑥：ブラジル地理統計院 (IBGE)、③⑧～⑪：ブラジル中央銀行、⑦：経済省

（お問い合わせ先）

海外調査部 米州課

ORB-latin@jetro.go.jp